

| 弘前市総合計画審議会議事概要（第3回）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                             |                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 平成26年1月31日（金） 10時00分～12時00分 |                                                                                                 |
| 場 所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 弘前市立観光館 2階 研修室              |                                                                                                 |
| 出席者<br>（23人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 委 員<br>（18人）                | 檜楨会長、生島委員、阿部委員、齋藤委員、中村委員、淀野委員、三上（弘）委員、清野委員、成田委員、工藤委員、北村委員、鈴木委員、佐藤委員、福士委員、山本委員、青山委員、名越委員、三上（隆）委員 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 事務局<br>（5人）                 | 経営戦略部長、行政経営課長、行政経営課長補佐、行政経営課総括主査、行政経営課主査                                                        |
| <p style="text-align: center;">会 議 概 要</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）前回議事概要について</p> <p>① 資料1に基づき事務局から説明した。</p> <p>→ 特に意見がなく、了承された。</p> <p>（2）（仮称）弘前市経営計画（案）第3章について</p> <p>① 資料2に基づき「1 弘前市の20年後の将来都市像（めざす姿）」について事務局から説明した。</p> <p>「2 将来都市像の実現に向けた戦略」について事務局から説明した。</p> <p>○ 主な質疑等の内容は以下のとおり。</p> <p>□ P34 市民会議ワークショップでの議論が、このように集約され文章化されると、ちょっと伝わりにくいと思われる部分がある。それは、4つの都市将来像の下にある文章で、例えば「・・・育っている」と表現されている。これは既に「・・・育っている」というようにとらえられかねないので、「・・・育っている弘前」をめざすものなので、表現を工夫できないか。</p> <p>⇒ そういっためざす姿を市民と共有しようということなのだけれども、よりわかりやすくという観点に立って表現する。</p> <p>□ P32 「医療が充実したまち」と書かれてしまうと後何も検討しなくていいとなるが、違うと思う。例えば、救急医療をとってみると大学病院以外では充実しているかといえばそうではない。人口に対する医師の数が全国平均を大きく上回っていることをもってこうした表現になったと思うが、医師が沢山いればいいのかというと、いるだけではなく中身が重要。もう一つは学都というけれどもこれも同様で、弘前市が積極的に地域の課題を研究してもらう研修者を養成するようなアクションを起こしてもらいたい。そうでないと、特徴のある学都と言えないのではないかな。秋田や盛岡、どこにでもあ</p> |                             |                                                                                                 |

てはまるような実態感のない表現になっている。

「くらしづくり」とあるが、安心して暮らしたい、これが郷土愛につながる。弘前の交通事情は子供や老人にやさしくない。これを直さないといけない。それから、茂森のとおり電線がなくなったけど、旧市街の残すべき景観、空を見れば電線がいっぱい。これでいいのか。やさしいまちのイメージを作っていかなければ。「活き活きと安心して暮らせるまち」の前に、人にやさしい、人に譲る気持ちを育てていかないと感じている。

それから、子育ての話が出てくるが、進学や就職時に地元に残りたいという希望を充足させていくかという問題もある中で、子どもの笑顔というのは全国・世界どこでも親が願うことで、これをキャッチフレーズにするのはあまりにも網羅的、総合的すぎる表現かなという印象を受ける。

- 40年間で弘前がどう変わったかという、遠隔部、城東、堅田はなかった。青森に行くには和徳の通りしかなかった。あの町並みは、全国津々浦々見かける町並みで弘前の特徴ではない。

だから、実体感の無い中身でいっても変わらない。誰もが住みたいと思うまちにしていなかないと。弘前は青森県内では他市比べていいところいっぱいあるけど、隣接する県では、東北ではどうだろうという、この40年間で差がでていると思う。具体的に克服する内容がないと、これから20年後といっても変わらないと思う。

- 弘前市の医療は、大学病院が担うのではなく、市立病院が担はなければならない。市が医療を良くしたいと考えるならば、市立病院が拠点的に、重点的に対策しないといけないと思う。

⇒ 委員がおっしゃるように、圏域の医療の再編については内部で検討していますが、民間の方々との連携とか含めて、市立病院のあり方については姿勢としては打ち出せると思いますが、圏域での話もありますので相談してということになります。

- それから、人口が減るということは、民間病院も経営が苦しくなるということですから、これも再編というか大きな問題が山積している。

急性期医療が過ぎると、介護の問題。病院を出て介護施設探しても四苦八苦。介護が育っていない。

函館市に視察に行ったが、函館市の起業が経営する有料老人ホームでは、胃ろうカテーテルなどが入った方でも入所できるし、在宅でも嘱託医と連携していく取り組みがされているが、この辺では施設への入所が制限又は拒否される。あまりにもレベルが違う。充実しているというは分析が甘い。医師が多い、施設が多いけれども、中身として満足しているとは思えない。

⇒ 介護についてはずいぶんお金はかかっているという話はでるが、中身の議論というはあまりないのかもしれない。

子育てにおいても、障害のある子どもが、入所できる保育所はどこで、どこまで面倒みてもらえるのかという情報が整理する必要がある。

- 保育の話では、24時間保育やっている、持ち出しで、公益事業ですからやりますが、共働きが多いから、夜遅くとまでとか、朝早くからとか、病児保育とかきちんと対応しなければならない。
- 総合計画なので、総体的な記述にならざるを得ないと思う。ただ、こういう考え方のもとに、様々な具体的事業がぶら下げられているということを、市民にわかりやすく説明していくことが必要。  
「・・・っている。」という断定的な表現の話があったが、これは20年後にこうなっているということですから、これで良いのではないか。  
将来都市像に「子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前」とあり、子ども以外は どうするという話になるかと思うが、P33に「子どもたちの笑顔は、その地域の安心感、そして活力を写す鏡であり、子供から高齢者まで全ての世代が暮らす社会の異豊かさを象徴する」とあり、ここをもう少し強調するとすれば、市民に理解されると思う。
- 市民会議でも同様な意見がでた。子どもたちの笑顔はすべての世代が暮らす社会の豊かさを象徴するものだということを、前面に出していただくということを確認したい。
- アドバンテージ、イノベーション、インバウンドなど横文字が多すぎる。高齢者には分からない。括弧書きの説明などの配慮が欲しい。
- P34 「くらしづくり」のところに安全・安心とでてくるが、すべての分野に共通するので、「子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前」＝「安全・安心なまち」ということで表現を加えたらどうかと思う。
- 子どもたちの笑顔で代表できるかという、高齢化、核家族など世代間の問題はもう少し複雑で、すべてを象徴するということであれば感覚的に納得出来ないところ。
- 市民会議でも各世代で様々な問題があるという議論はあったが、最終的に子供の笑顔があふれるまちにしていこうということでまとめたという経緯がある。
- 「高齢者が安心して暮らせるまち」とかでも良いのでは。どの世代で代表してもいい、最終的にはみんなが幸せに笑顔あふれるまちでいたいということでしょう。
- 20年後にこういったまちにしていこうという計画ですので、この表現で良いと思う。確かに背景には様々な問題があるが、それを乗り越えていこうということだから。
- P37 「ひとづくり」に関して全体的に子どものイメージが強く、子ども以外の大人の学びに関係する部分は「多様な学び」のところだと思うが、子どもだけではなく大人すべての世代を対象にしていることがわかるようにしていただきたい。
- 教育は知識を詰め込むばかりでなく、学びには思いやり、やさしさが必要。知識だけでなく智慧が重要。これを行うのが社会教育であり、次世代へ我々

大人からもっと熱いメッセージを送る必要があると感じている。社会教育を見直す機会として、20年後もっと社会教育が進んでいるように、人と人とのつながりが深まっている時代とするためにも、もっと強く盛り込んでいただきたい。

- 全体的に方向性は良いと思うが、具体的な施策等が見えれば議論が深まると思うので今後お願いしたい。

P41 「なりわいづくり」の「取組①美味しくて安心！地産地消運動」について、本計画で地域を経営していくと、そのためには経済を活性化し自主財源を確保していかないとならない。そういった中で、こういった意味合いでこれが出てきたのか、「食」だけなのか、「！」の表現は適さないのでは？  
⇒ 「なりわいづくり」で市民が取り組めるものとして、食ということであると地元のものを食べましょと、市民の活動として地産地消ができるだろうということで、キャッチフレーズとして表現したもの。

- P37 「子育て」のところに、弘前っ子とあるが、どういう子どもをイメージしているのか。わたしは、サザエさんのカツオ君のようなイメージを持つが。

P41 「ひとづくり」の「取組③子どもを守るあいさつ運動」とあるが、昭和55年に全国的に始まり弘前でも実施していたがいつの頃かなくなった経緯がある。長続きするような形で取り組んでいただきたい。

- p41 市民行動プログラムで、取り組みの方向性とあるが、本計画では市民が主体的に取り組むとしているにもかかわらず、行政側から方向性を与える形に見え違和感がある。

⇒ 取り組みの方向性というのは、市民会議で議論してこういったことができるのではということであげられたもので、例示的に示したもの。具体的に誰にどうやってもらおうというところまであるわけではない。

方向性というと誘導するようなイメージをもたれるので、例示とかその辺工夫が必要。(会長)

※ 次回の予定について説明。

### 3 閉会